

農業委員募集に係る応募した者一覧表 (番号は受付順)

応募者									応募理由		
番号	氏名	性別	年齢	職業	経歴		認定農業者であるか否かの別	農業経営の状況		最適化推進委員への被推薦・応募	
					年月日			営農形態	形態	経営面積(a)	
1	南 加代子	女	64	市議会議員	H29.7.20～H27.5.1～	岸和田市農業委員 岸和田市議会議員	否 経営していない。			無	私は、農業に直接従事していない中立の立場だからこそ、日々の暮らしの中で農地の存在がどれほど地域を支えているか、季節ごとに表情を変える田畠を見ながら、ここが地域の未来を育てる場所であり、一度失われば戻らない大切な財産だという思いが深まっています。そして、農地がヤード化してしまう現状に触れるたび、その重みを改めて胸に刻んできました。 365日、自然と向き合いながら農業に従事される方々の姿には、言葉にしがたい尊さがあります。雨の日も風の日も、作物を育てる手は私たちの命を支える営みそのものです。その営みを守り、次の世代へつないでいくために、中立の立場で農業振興と健全な農地利用を見つめ続ける農業委員の役割は、非常に大きいと感じています。 本市は、都市農業という力を持つまちです。住宅地のすぐそばに田畠があり、子ども達が土の匂いを感じられる。そんな環境は、他のどこにも代えがたい地域の宝です。この価値をさらに生かし、農地を地域の資源として守り育てていく取組みを進めたいと考えています。 また、全国では女性農業委員の活動が広がり、直売所での販売戦略の改善やSNSを活用した情報発信、子ども向け農業体験の企画、景観保全の視点を取り入れた提案など、きめ細やかな視点が新しい風を生み出しています。女性ならではの感性は、「育てる」から「届ける」「つなぐ」まで、農業の価値をより豊かに広げていく力があります。多様な視点が求められる今こそ、女性農業委員としての経験を地域の農を支える仕組みに生かしたいと考え、地域の農地を大切にし、都市農業を育み、その価値を更につないでいく為に、農業委員として引き続き責任を果たしたいとの思いから応募いたします。